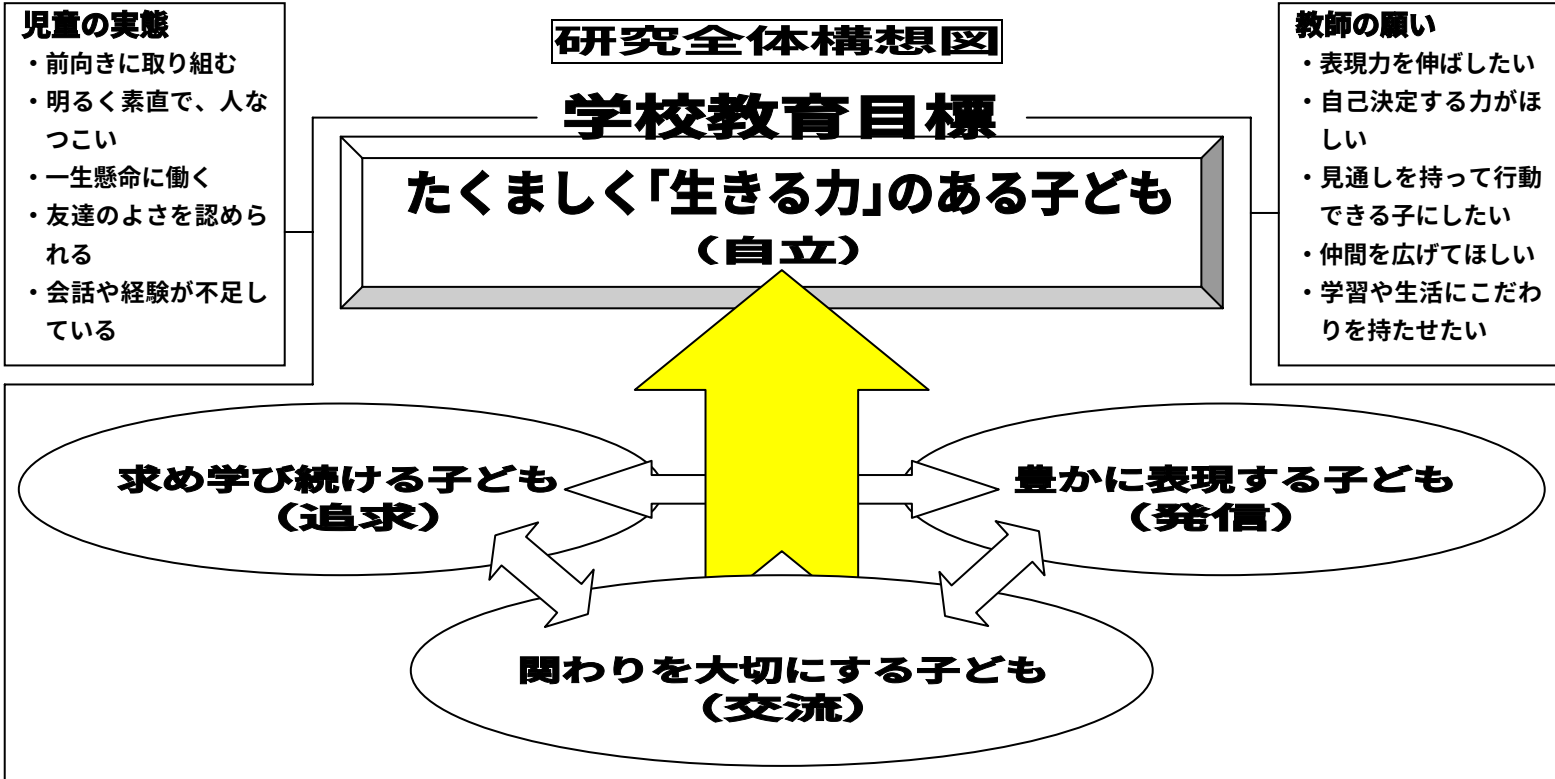




<研究主題>

『共に育つ教育課程の創造』

～追求・発信・交流、そして自立へ～

研究の仮説

学校教育活動のあらゆる場面において『追求』『発信』『交流』を重視した活動を仕組み、様々な他との関わりを体験させることで、社会において『共生』できる「生きる力」を身に付けながら、仲間と共に育つ『自立』した子どもの育成を図ることができるであろう。

特別活動のデザイン

- ・特活における「付けたい力」の明確化
- ・豊かな体験活動をめざして、子どもが主体的に取り組むスポーツフェスティバル
- ・表現力を高める学芸会
- ・自立へのステップをはかる宿泊学習（3年一泊、4年一泊、5年二泊）
- ・子どもの発想を生かす『六年生を送る会』
- ・関わりを大切にした日常の異学年交流

学習指導法の改善

- ・個が生きる指導法の改善や学習形態の工夫
- ・個に応じた指導のための指導体制（少人数指導、交換授業、教科担任制）
- ・基礎基本的な学習と発展的な学習のための指導計画や教材の選択・開発
- ・「追求」「発信」「交流」場面を意図した単元構成
- ・全学級授業公開による教師同士の学び合い

総合的な学習

- ・経験させたい課題と子どもの関心をもとにした課題の見極めによる課題設定
- ・紙キュラム作成を通した活動計画の見通し
- ・育てたい力や活動の目的を共有するための「総合ガイド」の作成
- ・子供同士の交流を効果的にするための追求ユニットの選択
- ・経験させたい単元内容として、「地域」「国際理解」「福祉」「環境」を重視

学校環境・学校空間の活用

- ・学びの可能性を広げるオープンスペースの活用
- ・子どもの願いをより叶えるためのサポートスタッフ制
- ・豊かな感性を育むホール・踊り場の活用
- ・多様な学習形態を支えるパネル・座机配置の工夫
- 新刊図書コーナー ミニコンサート
- 委員会の情報発信 生き物コーナー

教育課程の編成

- ・一日のスタートを子どもと共に過ごす『朝の活動』
- ・ノーチャイム、モジュール方式による学習時間の弾力化
- ・月二回の『キッズタイム』による他との関わりの充実
- ・子どもの自主活動や遊びを保障する「ロング昼休み」
- ・一人一人の子を多くの指導者で見守るシステム
- ・地域にひらく学校づくり（オープンスクール、小中高合同コンサート）
- （通知表への「あなたに拍手」、学期ごとの清掃分担）
- ・指導と評価の一体化をはかる評価時期の工夫
- ・自己評価、外部評価を生かした教育課程の見直し
- （7月上旬・11月下旬・3月中旬）
- （学校評議委員制度、保護者へのアンケート）